



## ② アワビってどんな生き物？

美しい海は、大槌に暮らす皆さんの宝物です。大槌や三陸の海の環境・生き物の魅力や不思議をみんなと一緒に勉強しましょう。今回のテーマは「アワビ」です。

アワビという生き物をご存じですか？ 大槌でもたくさん漁獲される三陸を代表する海の幸ですので、馬鹿にするなど怒られるかもしれません。しかし皆さんの知る「アワビ」は、おそらく食べ物あるいは獲物としてのアワビでしょう。海に住む生き物としての「アワビ」についてはいかがでしょうか？

アワビはアサリと同じ二枚貝なのか、それともサザエと同じ巻貝なのか？ アワビには目や歯はあるのか？ アワビの赤ちゃんはどんな形をしていて、どこで暮らしているのか？ さあ、皆さんはいくつ答えられましたか？

## 大槌の海にすむエゾアワビ

アワビにもいろいろな種類があつて、日本だけでも十種類のアワビがあります。実はただの「アワビ」という名前前のアワビはいないのです。大槌の海に住んでいるのは「エゾアワビ」という種類です。茨城県より北の太平洋沿岸と

北海道の日本海沿岸に分布しています。この海域は親潮や千島海流が流れる冷たい海ですが、エゾアワビはそこに住む唯一のアワビです。他のアワビは黒潮の流れる千葉県より南の太平洋沿岸と青森県より南の日本海に住んでいます。

アワビの殻の形は、ホッキガイなどの二枚貝とよく似ているため、片方の貝殻しか持たない二枚貝だと思つている人が多いようです。しかし実際には、サザエなどと同じ巻貝の仲間です。嘘だと思つたらアワビの殻のおしりの部分をよく見てください。わかですが、サザエの殻のように渦巻き状になっているのがわかると思います。アワビの殻は成長するとグルグルと巻かずに外側に広がっていくのです。

## 持っている立派な目や歯

アワビは立派な目や歯も持っています。写真をよく見てください。二つの赤丸で囲つた中に黒い点のような目が見えるでしょう。この二つの目の真ん中の下側には口が



エゾアワビの“顔”。二つの丸の中に目があります！

あつて、ちゃんと歯も生えています。身体の長さの半分近くもある、長いヤスリのような硬い歯です。ちなみに陸に住む巻貝の仲間のカタツムリも二つの「つ」の先端に目を、口の中には歯を持っています。こんどアワビやカタツムリに接する機会があつたら、ぜひじっくりと観察してみてください。

アワビは「岩に張り付く生き物」ですが、1ミリの3分の1ほどしかない赤ちゃんアワビ（幼生）は、卵から孵化（ふか）してしばらくは海中を泳いでいるのです。1週間ほど泳いだあと、海底の岩の上に生える決まった種類の海藻を選んでくつき、私たちの知る「張り付き生活」を始めるのです。

どうですか？ アワビのこと、もつと知りたくありませんか。そういう皆さんはぜひ、質問コーナーに！

東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター

河村知彦（センター長・教授）



河村知彦（かわむら・ともひこ）1963年東京生まれ。専門はアワビ類など浅い海の底に住む無脊椎動物の生態学。著書に「アワビって巻き貝!? 磯の王者を大解剖」（恒星社厚生閣）など。

## 「質問コーナー」

皆さんからの質問をお待ちしています。住所、氏名、連絡先（電話番号など）を明記して〒028-11102 大槌町赤浜 2-1-06-1 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターへ。ファクス 0193-42-5612 でも受け付けます。選ばれれば、次回以降のこのコーナーで質問にお答えします。